

早稲田のいぶき

地域活性分科会

第19回まち歩き

目白台から「肥後細川庭園」へ

11月25日(土曜日) 目白台から「肥後細川庭園」。この日は朝からお天気も良く、久しぶりに週末の快晴という感じ。こういうイベントは、天候さえ良ければ九分九厘成功に違いない。まあ、企画を提出した委員の一人としては、そんな風に思いながらセンターに向かう。残念ながら一般の参加者が少ない。大勢の人を連れて歩くというのは、大変なことではない方が気楽ではある。

江戸川公園の大滝橋付近で最初の説明。地元に住んでおられる桐生委員のお話。周りを見渡すと、目白台の山の方はすでに紅葉が始まっている。ソメイヨシノも残った葉は、紅葉している。桐生委員のお話は子供のころの江戸川公園で遊んだ話までに及んでいる。なかなか興味は尽きない。次に向かったのは、関口フランスパン店。ここでは皆さんにパン購入の機会を与えた方が良かったかもしれない。坂を上りきると椿山荘である。参加者の市川さんから戦後、因縁があつてこの椿山荘に住んだことがあるという。この話もいつかもう一度聞きたいものだ。



●肥後細川庭園 水面に映る紅葉の美



●胸突坂の脇の水神社。大銀杏の間を歩く



●絶好のウォーキング日和で晩秋を堪能!



●歴史を知り、町への愛着が深まる

椿山荘のほぼ隣からは、講談社経営の園芸店、そして野間美術館のお庭拝見。実に講談社の土地はこのあたりから神田川に面している芭蕉庵までを含む。野間美術館の並びにある和敬塾もかつては、肥後細川藩の下屋敷の一部だった。この和敬塾では、あの村上春樹が入寮していたことがあるとの事。鬱蒼とした木々に囲まれた建物、東京の真ん中とは思えない。芭蕉庵への急なくだりの坂道、胸突坂。昔の人は天気の悪い日など、この坂に往生したろうな、と思いをはせる。胸突坂をくだると右手の大きなご神木の銀杏が二本。水神社。

その向かいが芭蕉庵。中で加藤委員のお話を聞く。芭蕉はどこへお酒を買いに行ったんだろうか。きつと堀部安兵衛が升酒を飲んだといわれる馬場下の小倉屋まで行ったと思うという、加藤委員独特の発想だ。目的の「肥後細川庭園」では係の山野さんからお話を伺う。前年までは、新江戸川公園という名称であったが変更された。文京区がずいぶんと力を入れたようだ。池もきれいな松聲閣(細川家の学問所、住まいだった)ともある(二階からの庭園の眺望は一見の価値あり)。

文・写真 間篠秀行

今回は、昨年10月11日(水)に開催いたしました、鶴巻小学校における交通安全教室についての報告をさせていただきます。

当分科会では、牛込警察署交通課、トラック協会新宿支部などの協力を得て、江戸川小学校、牛込仲之小学校、早稲田小学校と過去3回、低学年児童(1・2年生)を対象とした交通安全教室を実施して参りました。今回で4回目となりますので、各委員・区役所担当者も手馴れた様子で、準備から万全を期しております。

当日はお天気にも恵まれて、1年生と2年生の児童48名が元気に参加してくれました。低学年の児童の目線に立ったときに、自動車(トラック)からどのように見えるかを、直接、運転席に乗り込んで体験してもらいました。自動車の実際の大きさはどんなものか？



●鶴巻小校庭にトラックと横断歩道が登場。



●交差点、わたる前にはアイコンタクト!

自動車の周りに潜む死角とはどのような場所か?安全と危険の境界線を感じてもらえればと思います。スタッフ一同で全児童を運転席に座らせました。児童たちは、わいわいがやがやと楽しみながら、代わる代わるに運転席に乗って自分の目で直接体験をしております。この体験を通して何か感じ取ったものがあると期待しております。

また、交差点での横断についても、運転手さんとの「アイコンタクト」の重要性を、大きな目のパネルを使って、アピールいたしました。このパネルは、副校長先生にお渡しして、学校行事の際に再度児童に確認をお願いいたしました。

当分科会では、今後も、榎地区から児童に関する交通事故を撲滅できるよう、榎管内の小学校の低学年児童を対象に交通安全教室を実施していく予定です。 文 山本隆幸



●自動車の周りに潜む「死角」を体験。



●「ここでは、運転手さんから皆がよく見えているよ。」

地域ふれあい分科会

地域ふれあい分科会 7月～12月実施報告

「榎ふれあいデー」は、毎月第一日曜日・午後1時から早大通りに於いて実施。「ふれあいクッキング」は、年1回から2回実施。世代間交流を目的に、お子さんから高齢者までどなたでも自由に参加できます。

●「榎ふれあいデー」

7月29日(土)

貝の宝石づくり

「貝の博士」福田先生と共に、榎町地域センター3階工芸美術室に於いて、午前と午後の部、2回行いました。たくさんのお宝の中からひとつ好きな貝を選んで、やすりで磨いて磨いて、ピカピカ！キラキラ！輝く貝の宝石で、オンラインワンのペンダントを作りました。大盛況で終了しました。



●やすりを水で濡らして、貝を磨きましょう!

8月・9月はお休み

10月1日(日)

お神輿&昔あそび

分科会で手作りにした子ども神輿は、男性スタッフと早稲田大学学園祭実行委員(4月から協力スタッフ)が組み立て、女性スタッフは、紙鉄砲や凧作りの準備。晴天の下、紙鉄砲、凧上げを楽しみ、「ワッショイ!ワッショイ!」と神輿を担ぎ、子どもと大人が大いにふれあえた一日でした。



●初めてのお神輿、ワッショイ、ワッショイ!

11月5日(日)

早稲田祭2017

早大通りふれあいまつり

初の企画で、早稲田大学学園祭実行委員と共に、手作りのパズル、すごろくゲームを楽しんだり、紙コップと紙コップを綱糸で繋いで糸電話を作り、糸の長さを3m、5mと変えて「もしもし?」「聞こえる?」「とうれしそうな声、こま回し、羽子板けん玉など昔あそびを親子で楽しんで、友だちと教え合ったり、有意義に過ごしました。



●「もしもし～聞こえる～?」「は～い!」

12月3日(日)

ミニクリスマスツリー を作りましょう!

丸い紙皿を円錐に作り、紙コップの上部にテープを付けて、この部分に円錐ツリーをのせます。紙皿にシール、モール、テープ、リボンなど、好きなアレンジでデコレーションをして作りました。子どもも大人も楽しみながらステキな笑顔で仕上げていました。



●個性豊かなミニツリー、作成中!

●「ふれあいクッキング」

7月23日(日)

夏休み!シェフになろう!

栄養を考えた軽食づくり、グループに分かれ、中村先生の説明を聞きながら、カレーホットケーキ、のりチーズバーガーなど4種類を作り始めました。でき上がった料理を調理室から工芸室に運び、写真を撮り、食事後は修了証を授与。美味しく頂き、楽しい小学生のふれあいクッキングを終えました。この日は、エアコンが故障中にもかかわらず、小学生もスタッフも頑張って調理しました。



●中村先生の説明をよ～く聞いて。



●「よく混ぜたかなあ。」
「ぼくもやりたい!」

平成29年10月18日(水)、江戸川小学校において、運動着に着替えた1年生29名と、先生、協議会の委員、地域のボランティアさんの協力をいただき、植栽の授業を行いました。たくさん種類がある中から、子どもたちはそれぞれに自分の好きな花を手に取り、「きれいー」「かわいいー」「いい匂いー」と大はしゃ

ぎ。グループごとに分かれ、予め用意してきたペットボトルに水を入れ、シャベルを片手に、花の種類や配色をコーディネート、校門の周りや花壇に花を植えていきました。手の汚れなど全く気にせず、ぎこちない感じはしましたが、皆仲良く協力しながら、無事、作業を終了することができました。

江戸川小学校の教育目標の一つに、「仲よく助け合う子」と掲げてあるそうです。この植栽を通して、花を慈しむ優しい心を周りの友だちにも向けられる人になってもらえるよう願っています。

文 吉澤照雄



●児童、先生、委員、ボランティア、みんなで植栽開始。



●「そうそう、いいね、上手だね。」



●一つひとつ丁寧に植えていきます。



●春まできれいに咲いてね。



●「ピンクの横は白にしよう。」「かわいい!」

●榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募は 榎地区協議会事務局(榎町特別出張所内)まで

TEL 03-3202-2461 FAX 03-3202-2476

〒162-0042 新宿区早稲田町85番地 榎町特別出張所内 榎地区協議会事務局

http://www.city.shinjuku.lg.jp/soshiki/261500enoki_index04.html

お待ちしております

公募委員

おります